

和き・合い・愛 チャレンジキャンプ

対象

知的障がいのある児童・生徒
保護者、学校関係者

日時

令和7年12月20日(土)

趣旨

知的障がいのある児童・生徒が自然体験活動や社会体験活動を通して、自立的な生活や就労についての考えを深め、社会へと参画するために必要な自立性や社会性を育む。

保護者や教員を対象に、進路や将来の生活に必要な情報を得たり、参加者同士で情報交換を行ったりする機会を提供する。

プログラム

| | | | | | |
|--------|------|------|--|-----------|-------|
| こども | 9:30 | 9:45 | 10:00~ | 13:00~ | 13:30 |
| | 受付 | 開会 | 野外炊飯 シチューづくり | 片付け | 解散 |
| 保護者・教員 | 9:30 | 9:45 | 10:00~ | 11:20~ | 11:50 |
| | 受付 | 開会 | 講演会 「障がい者就業について、 義務教育後の進路について」 講師:T-challenge 永田 淳哉 氏 | 情報 交換会 | 閉会 |

講演会 情報交換会



保護者・教員プログラムは、障がい者の学習サポート活動を実践されているT-challenge 統括部長の永田淳哉氏をお招きして、演台を「障がい者就業について、義務教育後の進路について」として講演を行っていただきました。

近年の障がい者就業の実態や、保護者としてのサポート、学校としてのサポートの在り方を分かりやすく説明して下さいました。

また、情報交換会では、保護者と学校関係者同士で子どもの現状や進路などについて意見交流しました。保護者の心配や学校の不安について、講師の永田氏から助言をいただきながら、充実した情報交換会となりました。

野外炊飯

こどもプログラムでは、体験活動として「野外炊飯・シチューづくり」に挑戦しました。薪割り、食材切りからかまどでの調理まで、ボランティアとコミュニケーションをとりながら美味しいシチューと、ホットサンドメーカーを使っのホットサンドを作ることができました。

最後は、保護者も合流してシチューを食べてもらい、親子で大満足の研修となりました。



参加者の声

- ・こどもの将来が少し見えた気がします。普段このような機会がなく、本音が言える研修でした。(保護者の方)
- ・学校関係者にとって、こどもの進路を知ることは、指導をするうえでとても重要だと思います。今回の講話内容で関わり方が変わってくると思いました。(学校関係の方)
- ・障がいを持ったこどもの保護者の方の話を知る機会は、特別支援に関わっている先生しか知らないことなので、こういう機会でも忌憚なく話せることはとても良かった。(学校関係の方)

社教センター
HP